

は じ め に

本県の野菜は、全国第5位の細長い海岸線と四国山脈のなかで、気象・地形等の変化に富んだ自然条件のもと、地域ごとの立地条件を活かした適地適作による産地形成がなされており、農業産出額では、果樹、畜産に次ぐ第3位の地位を占めているが、産地の多くは、中山間地域に立地していることから、産地規模が小さく、市場の求めている長期安定出荷への対応が十分とはいえず、農業従事者の高齢化、後継者不足により野菜の作付面積も減少傾向にある。

しかしながら、野菜の消費・需要の動向は近年の生活行動様式や嗜好の変化、健康志向の高まり等から、主要な野菜消費の全国平準化が進む一方で地場野菜や減農薬野菜の需要の増大、消費者の鮮度、品質、健康・安全に対する志向、様々な情報提供への要望の高まりなど野菜に対する消費者ニーズの多様化が進展している。

このため、中山間地域においても、その立地条件を生かした多様なニーズに応えうる個性的な産地づくりが重要であり、平成23年3月に策定されたえひめ農業振興プラン2011に基づいて愛媛県野菜振興計画（12年度策定）を見直し、地域別、品目別のきめ細かな対策を取りまとめた。

今後は、この計画をもとに、生産者、農業団体、行政が一体となって本県野菜農業の振興に取り組み、個性豊かな野菜産地の育成と農家経営の安定を図っていくこととする。